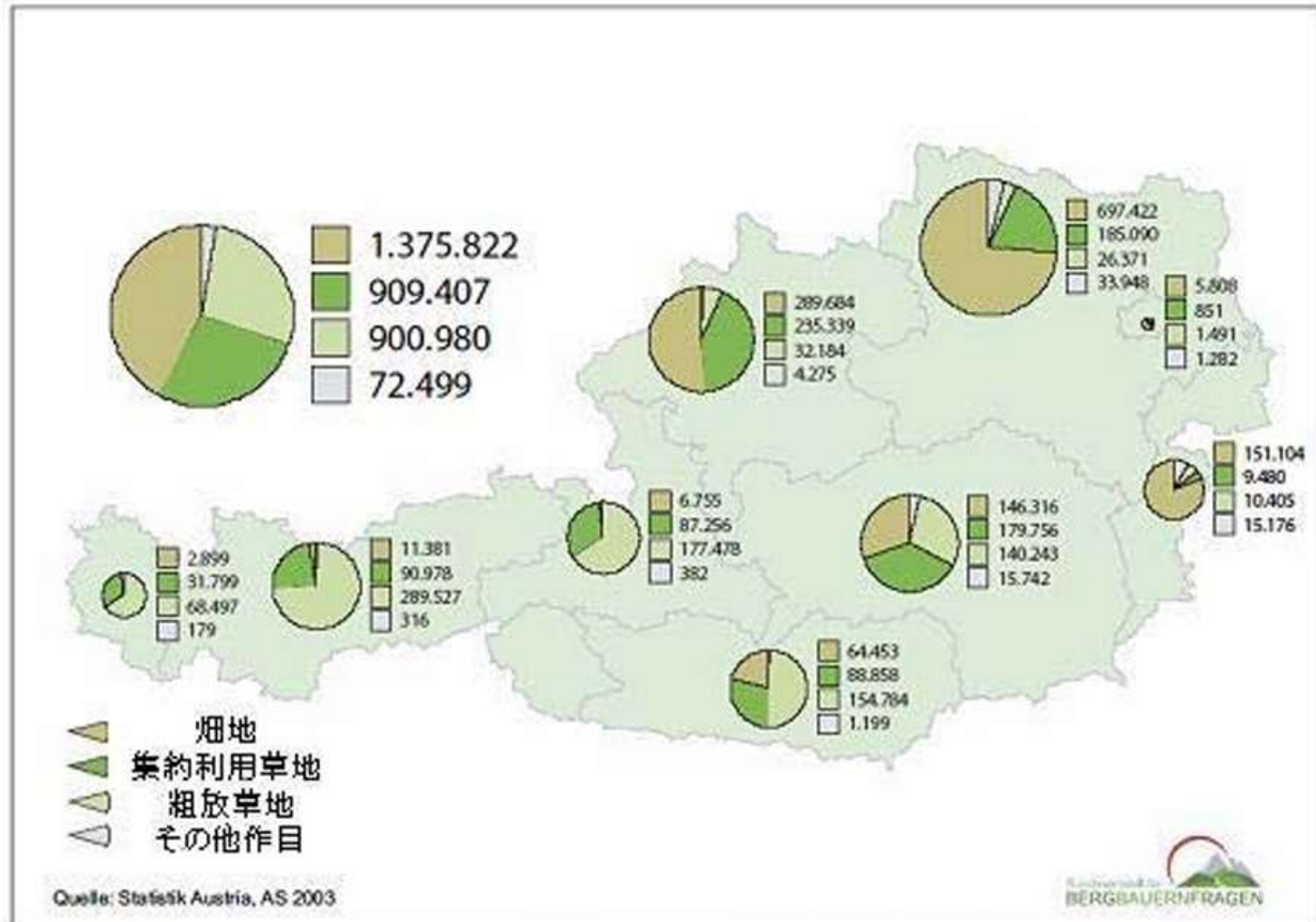


「垣間見た深刻な民族対立」

畑作と畜産のバランス

(ニーダーエスターライヒ州は右上)
図は農林水産省資料

図表 1 オーストラリアにおける作付分



オーストリアの有機農業はEUで一番 (オーストリア大使館)

•27.4% 有機栽培農地

2023年には、農地の4分の1以上が有機農法で耕作されていた。EU域内の比較においてオーストリアは第1位です。

•24,450 有機農場

2023年には約24,400戸の有機農場があり、オーストリアのすべての農場の23,1%を占めています。

•2.687 有機食品売上高 (単位：1億ユーロ)

2022年の有機食品の売上高は2,687億ユーロで、この傾向は高まっています。

•17.2% 有機穀類

2021年、穀物の17.2%が有機栽培で生産されました。

オーストリアカウツェン村 チェコ国境

W「国境からチェコに追いやられたドイツ人はどう扱われたのか」

K「わからない」

W「ひどい扱いを受けただろう」

K「終わりにしよう。」



ハプスブルク家支配のオーストリア・ハンガリー帝国は第一次大戦までイギリス、ドイツ、フランス、ロシアとヨーロッパ5列強。

1918年 第一次大戦終結
オーストリア共和国に。
ほぼドイツ人地域。

1938年 ナチスドイツ併合 ※密告

1945年 第二次大戦終結
連合軍占領（ウィーンはソ連）
iron curtain ※密告

1955年 オーストリア共和国独立
(注) オーストリアは子どもは母の姓を名乗る例が多い。
(ドイツはいろいろ)

1989年 ベルリンの壁崩壊

1990年 東西ドイツ統一

ユダヤ人

世界に約1400万人

イスラエルに約700万人弱。

アメリカに600万人。

ホロコースト600万人以上。

※密告

(例) 『帰らざる肉体』 (1963年)

ユーベル・モンテイエ著 (フランス人)

病気と暴力で顔がつぶれ、収容所から生還したユダヤ人女性が、身内を探し出すが復元した顔なので身内に本人と気がついてもらえない。そのうちに身内の密告で捕えられたと知り、絶望して、建国されたイスラエルに戻る気持にならない。死んだ同胞こそ仲間と思って自殺する。

『あの日のように抱きしめて』 2014年ドイツ映画



『死刑台への
招待』
1965年イギリ
ス映画
RETURN FROM
THE ASHES



『The Sound of Music』

アンシュルス(ドイツとオーストリアの大合併)への失望

※ヒトラーはオーストリア人だがハプスブルクを否定



コンポスト化促進(有機農業・園芸)

2006年有機農業の推進法「化学肥料・農薬不使用、遺伝子組換技術不使用により環境負荷低減」

目標2050年農地の25%

オーストリア

農地の27%が有機栽培農地(2023年)

1991年から有機農業転換補助金

有機ごみ分別収集

畑作と畜産のバランス

食品ロスゼロの実現

2019年食品ロス削減推進法

フランス2016年食品廃棄禁止法

(写真はオーストリアの回収箱・一番左がコンポスト)



ロンドン市役所からみたシティ 2025年夏



ロンドン

官庁街の小菜園

ボリス・ジョンソン

2012五輪

「市内2012か所の家庭菜園」

⇒現在3080か所



Bishops
Gateビル
のごみ集積
所

※堆肥無料



クロスレール全長118kmうちロンドン中心部を通る部分**エリザベスライン**。ロンドン五輪2012年に着工。五輪レガシー。ヒースロー空港からパディントンまで30分余、12・8ポンド。ヒースローエクスプレスは15分、料金は25ポンド。シティや五輪パークに直通。

写真はパディントン駅

